

人と人のつながりが大切

道立生涯学習推進センターの
地域活動活性化支援セミナー

インターリンク クマシマ 氏 まちづくりで特別講演

道立生涯学習推進センター主催の地域活動活性化支援セミナー（八月二十六



二十七日、札幌市内かでの2・7の二日目、阿部クマシマ氏（写真）が「地域資源を活かしたまちづくり」をテーマに特別講演を行った。インターリンククマシマ氏では北海道の様々な地域資源を活用した企画を創造、提案しており、北海道産ワインの魅力発信や札幌円山動物園の夜間貸切イベントなどを手がけてきた。

阿部氏は「地域資源を生かしてビジネスとして売り込むと同時に、儲けだけでなく、人と人が連携していく中で新たな付加価値が生まれてくると感じている。それは地域の魅力アップにもつながる」と、ものや文化をつなぐ人と人のつながりがこそがまちづくりにとって最も大切であると訴えた。

阿部氏は北海道産ワインを軸に、道産食材との食べ合わせを打ち出したワインツーリズムや、札幌円山動物園の夜間貸切イベント「ZOO LOHAS ナイト」など、地域素材を生かしたライフスタイルを提案して

いる。ZOO LOHAS ナイトについて、「夜の幻想的な動物園に動物の鳴き声だけが響き渡る空間で、生命というものを感じた。子ども目線とは違う新しい楽しみ方を動物とのふれあいなど体験を通して感じられる取組にしたかった」と発想の原点を振り返った。

ZOO LOHASナイトでも道産シャンパンとホテルメイドの食事を提供するなど、昼間の動物園とは違った楽しみ方を展開し、好評を博した。阿部氏は北海道の地域資源を生かしたプログラムを作りたいと思った。儲けよう、ビジネスととらえると継続できないものだが、徐々に認知度が高まり、人気を得たと述べた。

このほか、ライラック祭りの期間に札幌の大通公園から大倉山を望みながら、道産ワインを楽しむワインガーデン、道産食材とワインやお酒を味わいながら食や健康のプロフェッショナルの話や健康の話を聞く大人の食育セミナーなどを企画。すでにある地域資源やプログラムに新たな発想を加えることで付加価値が生まれる過程を示した。

そうした提案が生まれる上で大切なこととして「人との連携」を強調。「分野の人との情報交換が大切。誰とどう結び付き、誰に届けるのかを考えると、そうすることで地域資源に付加価値が生まれ、地域の魅力アップにつながっていく」と訴えた。